

掛川市(北陸圏・中部圏ブロック)

- ・江戸期：城下町、宿場町として発展。
- ・戦後～：JR新幹線、在来線等の駅があり、交通の拠点。道徳と経済とを併せ説いた報徳思想が盛ん。
- ・現在：平成17年、旧掛川市、大東町、大須賀町が対等合併し、現在の新「掛川市」となる。

【計画期間 27年4月～32年3月】

【前計画の概要】

○掛川駅前東街区の再開発や歴史的建造物の整備などに取り組むことで、にぎわいの創出、居住人口及び営業店舗数の増加を目指す。

(計画期間：平成21年4月～27年3月)

【中心市街地の変化】

○駅前東街区第一種市街地再開発事業の着手が遅れたことで、目標の歩行者通行量と居住人口を達成することができなかった。

○飲食・物販・サービスなど6店舗のテナントを誘致し、また、青年会議所OBなどによる屋台村のチャレンジショップの展開等が効果として発現し、目標の営業店舗数を達成した。

【目指す中心市街地像】

○協働による新たな賑わい創出
～協働によるまちづくり～

■前計画の目標

目標	指標	基準値	目標値(H26)	現況値
様々な目的で人が集う賑わいのあるまち	歩行者通行量(平日)	6,097人(H19)	6,750人(H26)	5,285人(H26)
快適で便利に多くの人に住むまち	居住人口	1,579人(H20)	1,700人(H26)	1,459人(H26)
活発な商業・業務・サービス活動のあるまち	営業店舗数	357店(H19)	380店(H26)	383店(H26)

■新計画の目標

目標	指標	基準値	目標値(H31)
まちなかの賑わい創出	歩行者通行量(平日)	5,285人(H26)	6,750人
まちなか居住の促進	居住人口	1,459人(H26)	1,660人
まちなか交流人口の増加	施設利用者数	469,834人(H25)	541,000人

まちなかの賑わい創出

【主要事業】

- ・掛川駅前東街区第一種市街地再開発事業
- ・掛川駅北駐車場・駐輪場整備事業
- ・全国軽トラック市サミット誘致・開催事業

など

まちなか居住の促進

【主要事業】

- ・掛川駅前東街区第一種市街地再開発事業
- ・掛川駅前西街区開発事業
- ・空き地利用促進事業

など

まちなか交流人口の増加

【主要事業】

- ・掛川城等施設管理運営事業
- ・ステンドグラス美術館管理運営事業
- ・掛川おもてなしイベント開催事業

など

掛川市中心市街地活性化基本計画の事業概要

まちなかの賑わい創出

①掛川駅北駐車場・駐輪場整備事業

まちなかに不足する駐車場を増設することにより、車による中心市街地への来街を容易にし、賑わいの創出を図る。



②全国軽トラック市サミット誘致・開催事業

県内最初の軽トラック市の開催市として、全国サミットを掛川市に誘致し、中心市街地を歩行者天国にして開催することで、賑わい創出を図る。

まちなか居住の促進

③掛川駅前東街区第一種市街再開発事業

まちなかの大規模遊休地を解消し、商業施設等の再立地により、賑わいの創出、居住の促進、交流人口の増加を図る。



④掛川駅前西街区開発事業

大規模遊休地の活用を図ると共に公共交通の結節点という立地条件を生かし、住宅と併せた多目的施設等の整備を行いまちなか居住の促進を図る。

まちなか交流人口の増加

⑤掛川城等施設管理運営事業

市民の生涯学習の場として、地域の伝統文化など地域価値のある歴史文化施設を一元管理し、民間企業の実績を活かした事業を展開する。

⑥スタンドグラス美術館管理運営事業

新たに建設される施設を掛川市の文化・芸術及び教育の振興に位置づけ、指定管理により、民間企業の実績を活かすことで、目標である交流人口の増加を図る。

中心市街地領域：51.9ha



スタンドグラス美術館

掛川公園



掛川城天守閣

新産業会館
建設事業

空き地利用促進事業
空き店舗対策事業

掛川駅前西街区
開発事業

掛川駅前広場

掛川駅北駐車場・
駐輪場整備事業



JR掛川駅(木造駅舎)

掛川城等施設管理運営事業
スタンドグラス美術館管理運営事業
大日本報徳社利用促進事業
中央図書館利用促進事業
この丸美術館利用促進事業



大日本報徳社



掛川市立中央図書館

掛川おもてなしイベント開催事業
掛川ひかりのオブジェ展開催事業
けっトラ市開催事業
友引ストリートカフェ開催事業



けっトラ市(軽トラック市)

掛川駅前東街区
第一種市街地再
開発事業



0 50 100 150 200 250

500(m)